

1) 補聴器特性の測定

入力50・65・90dBでの特性、またI/Oカーブ。

このデータからコンプレッションのニーポイント、圧縮率を知る。

2) 補聴器特性の設定

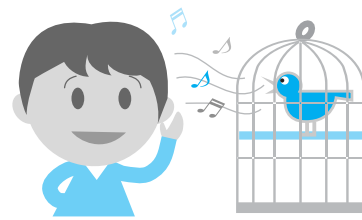
パソコンソフトを用いてラウドネスカーブに合わせて特性を作る。

3) ラウドネス測定

今回は自分の両耳の測定のみとしました。

今後、来店時の補聴器のガイダンスや装用後のカウンセリングを学んで欲しい。

最終日、夜行バスで帰る彼の送別会で思わず無念の涙がこぼれそうになった。少なくとも中学生の頃から、まともな補聴器であったなら、聞き取りに何の不自由もなく、また発音もこんなに悪くならなかったのに・・・と。自声発音と聴取訓練をしっかりとってください！と激励した。成長期の児童の補聴器・フィッティングの重要性を改めて認識しました。



【VI】 パソコン・フィッティングソフトの大罪

●先日来店された方から聞いた。

「初めの購入の時は10回くらい調整に行った。この前の2度目は13~14回行った。何回行っても満足できず諦めた。」----- A氏

「両耳購入したが何回行ってもダメ。片方は全く使わない。右だけ何とか役に立つ。」

「ボリューム付きだがしっくりこない・・・」----- B氏

いずれもオーダーメイド耳あな補聴器のお客様です。

●メーカーのセミナーで質問した。

「いろいろ新機能が開発され、素晴らしい。しかし今、切実に急務なのはハードの発展よりフィッティングがうまくゆくソフトが必要だ。こちらが優先するが。」

「ボリュームが変わったと説明されたが、ボリュームが必要なのはフィッティング前のもの。通信販売と同じ。Gainを含めた特性は個々に特定で、また不動のものでないか？」

●補聴器業界は大改革を。

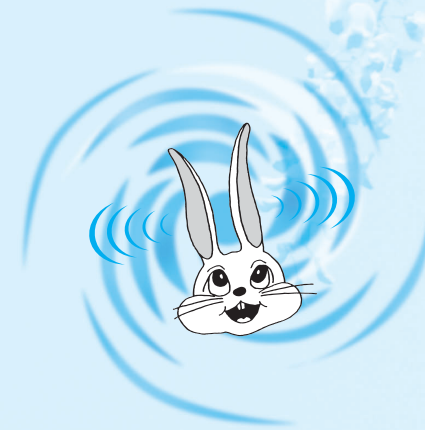
極論かも知れない。オーディオメーターとパソコンがあれば補聴器は売れる！あま〜い悪魔のささやき！で始めよう。・農協組合員さんを集めて！・チラシ広告で集めよう！・自宅までお伺いします！・販売者が何度も調整します！の優しい言葉に誘惑され、代金は払ったが満足できない。常套句が用意されている「きこえはいろいろあります。」「慣れてください。」「限界があります。」大悪人はパソコンソフトである。パソコンデータを見せ、これ信じさせる教育が大手を振ってまかり通っている。それからどうする！初期特性設定をパソコンで、以後の調整する理論がない。教育がない。(コンフォートフィッティングは数値化した。)本当のプロが行うフィッティングとは何だろう？少なくとも画面上の特性を実測し、また自身の耳で聞き、増幅度、最大出力、歪みは判別できなければならない。現状はパソコンフィッティングが機能していない事が明らかである。この認識を早く持たねばならない。そこから本物の認定され得る技能者を育成する。業界は大改革を迫られている。

CHG **コンフォート補聴器** グループ

(株)中国補聴器センター

URL <http://www.chc-ha.co.jp>

E-mail fukumoto-y@chc-ha.co.jp



Comfort Hearing
みみより News No.0011
10.04.28

ご挨拶

花と名城二つを体験して来ました。

4月3日は相模の国の「小田原城」、4月4日は備前の国の「津山城」。

小田原城は40年以上前の青年時代、まだ“城”が注目されない時から2度目、

津山城は本誌No.3の巻頭写真で紹介しました。

桜と城、日本の心の泉に思えます。

2月に神奈川県厚木市に大望のグループ店「コンフォート補聴器厚木店」がOPENしました。私共同様ご指導・ご支援をお願い申し上げます。



AMDAセンター長・小池 彰和氏と社長(左) (写真1)



中村氏夫妻と私(中央) (写真2)

創立35周年記念行事の一環、ハイチ大地震に社員共々支援金を進呈致しました。

みみよりNEWS 第11号をお届け致します。

今後とも皆様方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

株式会社 中国補聴器センター 代表取締役会長 福元儀智

尚、御意見・御指摘 E-mail でお寄せ下さいませよう願いたします。

トピックス

【I】機関誌FITTING87号

【IV】コンフォート補聴器厚木店オープン

【II】ご紹介医師へのアンケート報告

【V】難聴の大学生を実習生として迎えて

【III】創立35周年記念事業(追加)

【VI】パソコン・フィッティングソフトの大罪

みみよりNEWSのバックナンバーは当社ホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.chc-ha.co.jp> E-mail fukumoto-y@chc-ha.co.jp

【I】 機関誌 FITTING 87号を読んで

1) メッセージ 佐野昇氏 (全難聴・事務局長)

「補聴器文化を共に育てる」佐野氏の永き補聴器使用経験からの言葉に説得力がみなぎっている。専門店認定協会の会長であった河野康徳先生 (昭和女子大教授) の補聴器文化論について。また自身の補聴器体験から補聴器処方への疑問やデジタルに代わったことでの疑問を呈されている。

2) 理事長メッセージ (鈴木康介理事長)

倫理委員会報告で広告についてガイドラインが制定されたこと。この中でユーザーの「使用体験記」は誤解を与え好ましくない、との結論があった。当社で計画中の「補聴器感想文集」とは相容れないため質問状を出しています。協会発足理念の「補聴器適正供給」の一層を！を20年間唱え続けなければならない現状です。一層のご努力を期待します。

3) 補聴器技術講座 (工業会・技術委員・成沢良幸氏)

成沢氏の論理はパソコンという正確で実直な結果を出すことを進歩と認めている。特に2(3) 聴力型に応じた自動調整がどんなに悲惨な結果 (本誌【IV】を参照) を招いているかご存知だろうか？

●メーカーの横暴！

各社により接続コード等が合致せず、起動ソフトも異なる。A社とB社、あるいはC店とD店ではユーザーへの対応ができない。私共では3メーカー持つのがやっと (装置への習熟、器機の特徴を知るのにやっと)。もっとやさしくなって欲しい。

【II】 ご紹介医師へのアンケート報告

補聴器試聴をご紹介頂いた先生へは、相談内容について起承転結を報告しております。アンケートは装用から2~4週間後返信され、否定的事項が1ヶでもあれば即対応しておりますが、先生に患者様のその後についてご連絡しておりません。アンケートのご報告のシステム構築に悩んでおりましたが、アンケートハガキ表・裏をコピーしコメントを付けて一葉一枚にまとめました。

耳鼻科医先生からのご紹介は補聴器経験“無し”がほとんどで、また高齢者の方が多く、操作方法 (使い方) や聞こえ具合 (大きな音・数人で話す言葉) への注文が多く見受けられました。慣れる期間が短期 (3日・1週間) が60%以上あり、また再調整が0回は78%でありました。この結果は今年の学会で発表した無群・短期78%より若干小さいが、90%は2週間の慣れでした。

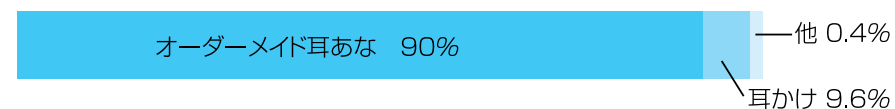
◆アンケートの回収率



◆回答耳の補聴器経験の有無



◆補聴器型状



◆慣れる期間



◆再調整



●アンケート (調査法) 論

商品 (製品・サービス) を提供する者は消費者の評価を気にし、より良いものへと努力する。当社では1995年よりユーザーの評価をアンケートにより調査している。調査項目を追加し、また回答率を上げる努力もしている。常々接しているメーカーの社長にも提言していたが、受け入れられていなかった。この度、某メーカーの社長からユーザーアンケートをする！との言葉を聞き、大変嬉しい。供給の先端である販売店でも実施してもらい公表し合うようになればと思う。

【III】 創立35周年記念事業 (追加)

(1) AMDAへ募金 (写真1)

ハイチの大地震他、地球上では自然災害、人的災害と休まる時もなく、かよわき人類に襲いかかってきています。岡山市を拠点に空飛ぶ医師団としても有名なAMDA (理事長: 菅波茂先生) があります。社長を中心として社員1口1コイン (500円) をベースに支援金を募り、緊急医療救援活動の一環に役立たせて頂きました。(合計125,500円)

(2) 補聴器感想文集の発刊

理想的な補聴器を追求し35年間、おぼろげながら近づいたとの思いがあります。この長い間、当社と共に歩みアドバイスやご不満の指摘を頂き、コンフォート補聴器に至りました。ご迷惑をかけながらも支えて頂いた方々の体験談・感想文をまとめ発刊します。この中で、こんなにも感謝して頂いていたのだと35年の生き方に誇りを感じた次第です。

(3) 途上国の難聴児に補聴器を贈ろう

耳の日を記念に今年も14回目のキャンペーンを行いました。次回ご報告します。

【IV】 コンフォート補聴器 厚木店オープン (写真2)

2月20日 (土) 神奈川県厚木市にグループ店がオープンしました。

昨年3月に当地・米子に、旧相模電機時代の後輩・中村隆造夫妻が温泉旅行として来られた。当社見学などされ、私の誘いを受け決意されました。1週間の店内実習を2回経て、地元厚木市に開店。小田急・本厚木駅から5分と地の利を得てビルの3階ながらすばらしい設備とレイアウトの店が実現しました。お祝いとお手伝いに2日間お邪魔し、驚いたのは中村さんの交友の広さ・深さでした。お祝いの花や鉢等30ヶに達していました。近年私が処方したユーザーの方が2名来られ、ラウドネス測定と補聴器の再調整を致し、安堵の心持ちで帰られました。また、地元の店で購入の方も来られ、MCLフィッティング・カウンセリングに「こんなことしてもらった事も、聞いたこともない！是非検討したい」と評価頂きました。どこもパソコンフィッティングのみで「こんなもの」「慣れてください」のようであった。中村さんの発展を支援していきます。

【V】 難聴の大学生を実習生として迎えて

学生 (S Tの卵) を1週間実習に3月8日から13日まで滞在してもらった。

高度難聴である事も知らされており、補聴器を理解して頂けたらと社員研修コースを体験して頂いた。両耳にオーダーメイド・カスタム型を装用しているわりに、聞こえが悪い。早速、ラウドネス・グロースと補聴器特性を測定した。愕然とした。こんな特性では聞こえないでしょう！！読唇がほとんど。あいにくこの機種種の調整ソフトを所持せず (取扱メーカーでない)、当社の試聴補聴器を合わせ聞いてもらうと、聞こえの良さにびっくりしていました。

当社での実習は補聴器の広義Fittingの起承転結をほぼ逆順序で行いました。